議会だより

9月定例会

ガス水道事業特別会計決算案
総合庁舎建設調査特別委の設置
など13議案を可決

町議会9月定例会は9月14日(月)から25日(金)まで開かれ、13議案を審議し、すべて可決しました。主なものは、昭和62年度一般会計補正予算案など各会計の補正予算案、昭和61年度企業会計の決算認定などです。また、総合庁舎建設調査特別委員会、議員定数検討特別委員会、網紀粛正特別委員会など5つの特別委員会が設置されました。請願は4件上程され、取下げのあった1件を除きすべて採択され、陳情された2件も採択されました。一般質問には9人の議員が立ち、運転免許試験場跡地、山田小学校、交通安全などについて町長にただしました。

日程

9月14日(月)　会期の決定。行政報告。議案の上程。議案の説明、質疑、討論、採決（諮問第1号、議案第46号）議案の委員会付託（議案第47～51号）。請願、陳情の委員会付託。

16日(水)　議案の説明、質疑、討論、採決（議案第52、53号、黒議発1～4号）

17日(木)　産業建設委員会

18日(金)　厚生企業委員会

19日(土)　総務文教委員会

21日(月)　一般会計予算審査特別委員会

22日(火)　一般質問

25日(金)　委員長報告。質疑、討論、採択（47～51号）。請願、陳情の採決。

議案

■人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（諮問第1号）

赤沼教正氏（69歳、鳥原）を人権擁護委員として推薦することについて同意を得た。

■黒埼町教育委員会委員の任命について（議案第46号）

岡田幸一氏（48歳、板井）の任命について同意を得た。

■町道路線の認定　（47）

都市計画道路小針線の側道歩道、横断道を認定。

■町道路線の変更認定（48）

小平方6号線を重複認定したため、あとで認定した路線を小平方8号線に変更認定。

■昭和62年度一般会計補正予算（第2回）　（49）

1億1795万9千円を増額し総額37億688万8千円に。

◎補正された主なもの

（歳出）役場庁舎外壁補修工事費300万円、山田小用地取得に関する委託料330万5千円、木場川前集落センター建設補助金456万円、黒埼中40周年記念校庭緑化工事310万円、農村総合整備モデル事業1859万円、町道用地買収1513万6千円他

■昭和62年度国民健康保険特別会計補正予算（第1回）（50）

921万6千円を増額し総額9億6039万3千円に。

■昭和62年度老人保健特別会計補正予算（第2回）（51）

102万6千円増額し総額9億3641万9千円に。

■昭和61年度水道事業会計決算認定について　（52）

13ページに。

■昭和61年度ガス事業会計決算認定について　（53）

13ページに。

■総合庁舎建設調査特別委員会の設置について（黒議発第1号）

総合庁舎建設に関することを審議するため8人の委員からなる調査特別委員会が設置された。

■農村総合整備モデル事業推進特別委員会の設置について　（2）

農村総合整備モデル事業を審議するため、8人の委員からなる農村総合整備モデル事業推進特別委員会が設置された。

■高速交通対策特別委員会の設置について　（黒議発3）

上越新幹線、高速道路に関することを審議するため、8人の委員からなる高速交通対策特別委員会が設置された。

■議員定数検討特別委員会の設置について　（黒議発4）

議員定数に関することを審議するため、8人の委員からなる議員定数検討特別委員会が設置された。

※それぞれの委員会の構成委員については左表のとおり。

委員会名	委員氏名（◎委員長）	（○副委員長）	
総合庁舎建設調査特別委員会	◎山際由衛	野崎太策	高橋重雄
	○岩野弘昌	高橋　勇	渡辺みつ子
	保苅定次郎	伊藤健三	
農村総合整備モデル事業推進特別委員会	◎永井武弘	野崎太策	大矢一夫
	○山際信三	伊藤健三	
	黒川　繁	鷲尾六太郎	
高速交通対策特別委員会	◎風間豊博	藤橋十三男	野崎太策
	○志賀　勝	山際留吉	伊藤健三
	坂井行康	白川　耕	
議員定数検討特別委員会	◎佐藤寅一	野崎太策	横山仁幸
	○高橋博男	伊藤健三	明戸和枝
	江端年一	山際輝充	

■昭和62年度老人保健特別会計補正予算（第2回）（51）

102万6千円増額し総額9億3641万9千円に。

■昭和61年度水道事業会計決算認定について　（52）

13ページに。

■昭和61年度ガス事業会計決算認定について　（53）

13ページに。

■総合庁舎建設調査特別委員会の設置について（黒議発第1号）

総合庁舎建設に関することを審議するため8人の委員からなる調査特別委員会が設置された。

■農村総合整備モデル事業推進特別委員会の設置について　（2）

農村総合整備モデル事業を審議するため、8人の委員からなる農村総合整備モデル事業推進特別委員会が設置された。

■高速交通対策特別委員会の設置について　（黒議発3）

上越新幹線、高速道路に関することを審議するため、8人の委員からなる高速交通対策特別委員会が設置された。

■議員定数検討特別委員会の設置について　（黒議発4）

議員定数に関することを審議するため、8人の委員からなる議員定数検討特別委員会が設置された。

※それぞれの委員会の構成委員については左表のとおり。

請願

■町道認定と道路改良舗装に関する請願　（請願第7号）

提出者　金巻総代前田松平

須上線と金巻線を結ぶ農道は道路幅も狭く、特に橋が狭くて回りづらく、交通事故の危険もあり不便をきたしており、住民から改善の要望が出されておりますので、一刻も早く町道認定のうえ、道路の拡幅と改良舗装をお願いいたします。

■排水工事に関する請願書（8）

提出者　大野町総代代理　渡部孝治　他3名

都市下水道事業排水路築造工事計画に、大野2号幹線と大野3号幹線とを結ぶ工事計画がなされていません。この下水道排水路の実現をはかられるようお願いします。

なお、この水路は大野小学校の通学路となっており、現在の蓋もない小川の状況では危険です。下水道排水路となることで蓋等の部分が歩道化できれば、環境整備の拡充にもつながると思います。

■町道改良舗装に関する請願書　（9）

提出者　大字木場区長　村井利幸　他3名

木場八割中島沢組線から下組を通り木場新田中道西川線に至る幅四㍍～四・五㍍、延長八六〇㍍の道路は、地域住民の重要な生活関連道路であるとともに、木場保育所通園道路と密接な関連をしており、改良舗装されることをお願いします。

※農村総合整備モデル事業の94号線計画線であるため、提出者が取下げた。

■黒鳥小学校グランド土盛りに関する請願　（10）

提出者　黒鳥総代　保苅亘　他2名

黒鳥小学校グランドは学校教育だけでなく、社会教育の場として、また非常変災の際の訓練ならびに非難場所として、重要な役割を果たしています。しかし、排水不良のため、降雨の翌日においても排水が完全でなく、特に大雨のあとは二、三日排水不良の状態となり、体育授業等の指導に支障をきたしています。

今後とも重要な役割を持つ黒鳥小学校のグランドの排水の便、地盤沈下について改善整備していただけますよう、お願いします。

※取下げのあった第9号を除き、採択されました。

陳情

すべて採択されました

■町道認定及び道路整備に関する陳情（陳情第3号）

提出者　蓮方団地自治会長　山際昭二　他2名

蓮方団地の鳥原3号線と北陸自動車道側道との間の道路は、すでに町当局に寄付採納済みですが両側に民家があり、防火対策上地域住民に不安を与えている現状です。また、この地域には高速バスの停留所があり、通勤通学ならびに日常生活必需品を購入するための生活道路でもあります。防犯、防火対策上と交通安全の確保を図り、明るい地域社会の建設のために、この道路の町道認定と通り抜け道路改良工事と舗装工事の施工をお願いします。

■「国民食料の確保、国土の保全及び米の市場解放・農産物輸入自由化阻止」に関する要請活動についての陳情（4）

提出者　黒埼町農業協同組合組合理事長　本間春市

農産物の輸入自由化・枠拡大阻止の運動を消費者と連携してすすめ、国民運動として輪をさらに広げるため、「日本の食料と国土を守る全国三〇〇〇万人署名運動」を実施しています。つきましては、左記要請事項が実現されるよう要請をお願い申しあげます。

要請事項

一、日本の農業を崩壊に導き、国民の主食を外国に委ねる米の市場解放は絶対に行わないこと。

一、外国政府と安易に妥協して農産物を自由化することは絶対に行わないこと。

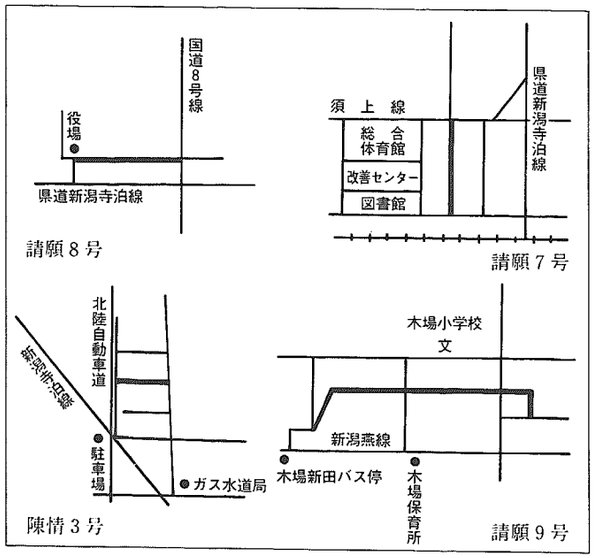
一、国内農業の振興をはかり、豊かな国土と自然の保全をはかること。

一、国民食料の安定的供給と国民生活の安全を保証するため、基礎食料の国内確保を最優先させること。

一、国会において満場一致で可決された「食料自給力強化に関する決議」（昭和55年4月）と「米の需給安定に関する決議」（昭和59年7月）を具体的施策として実施することにより、国民食料の安定供給をはかること。

※この陳情に基づき意見書が提出されました。

提出先・内閣総理大臣、農林水産大臣



一般質問

（要旨）

長寿祝金制度を条例とする考えは
かなりの負担あるが前向きに検討

A議員　福祉対策について①健康で明るい家庭づくりはお年寄りを大切にすることからだと思うが、長寿祝金制度の条例を制定する考えはないか。②福祉弁当の近況はどうか。

町長　①今後前向きに検討。

住民福祉課長　①町としても可能な限り施策を講じてきた。制度を条例とすると長期にわたってかなりの負担となる。88歳以上を対象にした場合の試算では、年約200万円程度になる。いろんな施策の中で可能かどうか検討する。制度を持っている町村は全国3300町村中、59町村。実施している町村へ視察に行ってはいないが、文書で照会、回答を得た。住民には喜ばれているようである。②毎月第3水曜日に行っている。対象は45人、経費は460円前後。さらに衛生面を考慮し調理室改装、冷蔵庫の入替えを町で行った。

町道第2須上線の拡幅を
関係者と協議し進めたい

A議員　町道須上線では、自転車通学の中高生が狭い歩道・自転車道で接触するのを避けるため、車道を走っているが、交通事故防止対策として、町道第2須上線の拡幅を要望